

南会津地域感染症通信 7月号

調査対象期間 2024年第25週～第28週(6/17～7/14)



令和6年7月
南会津保健所
電話 0241-63-0306

〈感染症流行状況:南会津地域〉

疾患	25週(報告数)	26週	27週	28週
新型コロナウイルス感染症	3	7	9	9
RSウイルス感染症	0	0	2	3
手足口病	0	0	0	2
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2	2	2	6

▶出典:福島県衛生研究所 HP,福島県感染症発生動向調査報告

・青色文字:小流行<基準値(小流行)を超えた週が2週以上続いた場合> / 赤文字:流行<基準値(流行)を超えた場合>

※ 新型コロナウイルス感染症は、現時点で流行指標が決まっていないため、全て黒字で記載しています。

〈今月のトピックス〉 夏に流行する感染症

～～手足口病・ヘルパンギーナ～～

※ 福島県全域で手足口病が増加しています。

疾患名	手足口病	ヘルパンギーナ
原因となるウイルス	エンテロウイルス	コクサッキーウイルスなど
症状	・軽度の発熱(高熱が続くことはない) ・口の中や手足などに発しんができる ・のどの痛み ・せき	・38～40℃の発熱が1～3日続く ・口の中に発しんができる ・のどの痛み ・頭痛 ・食欲不振
注意点	回復後2～4週間はウイルスが患者の便中に排出されるので注意	
感染経路	飛沫感染、接触感染、糞口感染(便の中に排泄されたウイルスが口に入って感染する)	
予防方法	・流水と石けんによる手洗いや消毒をしっかりと行うこと。 ・タオルの共用をしない。 ・おむつ交換の際など、排泄物を適切に処理すること。	
治療方法	・症状を和らげる方法(対症療法)を行う。 ・まれに髄膜炎や脳炎などの合併症をおこす場合もあるため、経過をよく観察する。 ・水分がとれないなどの症状がある場合は医療機関を受診する。	

～～「新型コロナウイルス感染症」と「熱中症」～～

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)患者が増加傾向にありますが、この時期は熱中症にも注意が必要です。

COVID-19と熱中症の違い

COVID-19と熱中症はともに発熱や体のだるさを生じることから、区別がつきにくいことがあります。症状の出現に個人差はありますが、特徴的な症状として、以下のものが挙げられます。

COVID-19:のどの痛み、せき、鼻水、味覚・嗅覚症状

熱中症:手足に力が入らない、意識もうろうな状態となる

夏の時期の感染対策

COVID-19の予防には、冷房時でも、換気扇や窓の開放による換気が重要となります。しかし、換気により室内温度が高くなりやすいため、エアコンの温度設定をこまめに調節し対応しましょう。